

青年部

2月全体会議

- ・日 時：2月21日（金）午後4時
- ・場 所：アパホテル〈名古屋錦〉EXCELLENT 11階「ビルゴ」（名古屋市中区）
- ・参加者：60名（会員企業社員の参加を含む。）

「2月全体会議」は教育情報委員会の企画・主催により「落語で知る安全週間」を開催しました。

これまでの安全講習は、重複内容が多く、新たに感ずるところが少ないため、結果受講してもその後の展開に効果があり得られないと部内での意見がありました。

今回青年部世代には馴染みの薄い落語ということですが、噺家のプロを通して改めて「安全」について考える機会となるよう本会議にて発信することとなりました。また、参加者は会員だけではなく、現場で業務に携わる社員の方々にもご参加いただき「安全」への意識啓発の一助として貢献できることが企画意図の一つでもあるとのことでした。

同会議は教育情報委員 辻 朝子氏の司会進行にて進められ、開会の挨拶で会長 金田 琳氏は「労働災害・労働安全はこの業界のみならず、他の業界においても永遠のテーマです。

そのためにも労働災害事故ゼロを目指すためにどのような取り組みを行うかが大切であると考えます。

これまでの安全の講習は経営者層をターゲットにしていました。しかし今回は経営者だけではなく従業員の皆様にもご理解をいただき情報の共有を図ることを目的としました。

本日の会が今後の皆様の会社において、安全の向上に役立つ

ことを願っています。」と述べました。

続いて情報教育委員長 柘植章仁氏からは本会議の企画趣旨が述べられた後、「ミュージカル落語®による安全週間」と題して、株式会社OFFICE 究斗代表取締役・ミュージカル落語家 三遊亭究斗氏を講師としてお迎えし講演が始まりました。

※ミュージカル落語は三遊亭究斗氏の商標登録です。同氏 HP より引用

講演はピアノ伴奏付きのWelcome Song を三遊亭究斗氏が歌い出し、「安全」に関する話が始まりました。

同氏は、「安全」は字の如く、“全てに安心”であれば安全が守られるが、“全てに安い”となってしまうと、やっかいなことになってしまいます、と流暢に話される様子に、次への展開に期待が寄せられました。

話の中に「安全」への意識が、分かりやすい言葉で端的に表現され、なおかつ緩急付けてテンポ良く流れる展開に鬼才の本領を発揮、一瞬寄席に来ているかのような錯覚に囚われました。

また、各内容について落語や歌舞伎の歴史を含めたエピソードも語られ、「安全」とは無縁のような華やかな世界の話と、意外な関係性が成り立つてしまうことで意識啓発できた、ミュージカル落語®の魅力満載の講演でした。

講演後金田会長より閉会の挨拶が述べられ、全体会議は終了しました。

懇親会は同会場の4階「旭」にて開催されました。



開会挨拶をする
金田会長



企画趣旨の説明をする
柘植情報教育委員長

